

ひょうご仕事と生活センター15周年記念事業

令和6年度 ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズを決定しました

兵庫県では、11月を『ワーク・ライフ・バランス推進月間』としています。

その取組の一環として、「兵庫の若者が輝く！ワーク・ライフ・バランスで可能性を最大限に」をテーマに募集したところ、2,011作品（一般の部490作品、学生の部1,521作品）の応募があり、審査の結果、次のとおり受賞作品を決定しました。

受賞作品は、今後、ひょうご仕事と生活センターの情報誌や啓発用カレンダー等に掲載するなど、ワーク・ライフ・バランスの普及促進に活用していきます。

1 受賞作品

(一般の部)

受賞名	氏名・住所等 (敬称略)	キャッチフレーズ
兵庫県雇用対策 三者会議賞 (グランプリ)	あらかき ゆかこ 荒木 裕佳子 神戸市	ひとつじゃない あなたの役割 あなたの 生き方 〔作者コメント〕 忙しいとついつい一つの物事にとらわれがちになると思いますが、自分には様々な役割(職場での役割、母としての役割、娘としての役割等々)があることを思い出して、その都度柔軟に対応できる生き方がいいなど、思いました。
兵庫労働局長賞 ・働き方改革賞 (準グランプリ)	まつもと 松本 あゆみ 神戸市 会社員	楽しもう！暮らしと仕事 どちらもあな たの宝物 〔作者コメント〕 私自身、30年以上時には心に余裕がない時もありましたが、家庭と仕事を両立してきました。そして、今の幸せがある。振り返れば、暮らしも仕事も宝物なのだ気がつくことができました。
ひょうご仕事と生 活センター長賞 (佳作)	こやなぎ しょうこ 小柳 祥子 たつの市 会社員 (株式会社ツボサカ精工 【WLB認定企業】)	退勤後 ふっと見上げた 空の青 〔作者コメント〕 空が明るい時間に退勤できることで休息もしっかり取れ、翌日からの仕事にも精一杯励めることを詠みました

(学生の部)

受賞名	氏名・住所等 (敬称略)	キャッチフレーズ
兵庫県雇用対策 三者会議賞 (グランプリ)	りかみ まゆか 理上 真優花 神戸市 (甲南大学)	自分らしい生き方の中に、自分らしい働き 方を 〔作者コメント〕 仕事中心の生き方を考えるわけではなく、自分の生活にあった自分らしい働き方を行うことでもっとモチベーションを持って人生を歩んでいけるというキャッチフレーズです。さらに、メンタルヘルスの改善や満足度も向上できる考え方だと思います。

<p>兵庫労働局長賞 ・働き方改革賞 (準グランプリ)</p>	<p>まえだ とうい 前田 仁威 神戸市 (神戸学院大学附属高等学校)</p>	<p>大切に 考え直す この休み 〔作者コメント〕 今の日本は、仕事や、しなければいけないことを優先し、家族や友人との時間など他の大切なものを犠牲にしているように感じます。この風潮を考え直す必要があると考え作成しました。</p>
<p>ひょうご仕事と生活センター長賞 (佳作)</p>	<p>よしだ なお 吉田 尚央 西宮市 (神戸学院大学附属高等学校)</p>	<p>多様性 認めて広がる 経験値 〔作者コメント〕 世界には1人ひとりの個性が存在していて、自分もそのひとりとして関わります。様々な人と関わって経験を積むことが大切だと思います。</p>

2 表彰式

令和6年11月29日(金)に兵庫県公館で開催する「ワーク・ライフ・バランスフェスタ」において実施します。

【参考】募集状況

- ・応募資格 兵庫県在住、在勤、在学の方
- ・募集期間 令和6年5月15日～7月26日
- ・募集テーマ 「兵庫の若者が輝く！ワーク・ライフ・バランスで可能性を最大限に」
- ・副賞
 - ◆兵庫県雇用対策三者会議賞 (グランプリ) : 3万円
 - ◆兵庫労働局長賞・働き方改革賞 (準グランプリ) : 1万円
 - ◆ひょうご仕事と生活センター長賞 (佳作) : 5千円

※入賞者が高校生以下の場合は、同額の図書カードを進呈。
※ひょうご仕事と生活センター15周年を記念して、副賞に加えて、センターのシンボルキャラクター「はぐペン」(ペンギンのぬいぐるみ)を進呈。
- ・応募数 2,011作品 (一般の部 490作品、学生の部 1,521作品) ※1人3作品まで
- ・主催 連合兵庫、兵庫県経営者協会、兵庫県、兵庫労働局、(公財)兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センター